

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2021年5月10日

上場会社名 株式会社サン・ライフホールディング 上場取引所 東
 コード番号 7040 URL https:sunlife-hd.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 比企 武
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役業務支援本部長 (氏名) 佐野 秀一 (TEL) 0463-22-1233
 定時株主総会開催予定日 2021年6月25日 配当支払開始予定日 2021年6月11日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月28日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	10,322	△12.8	53	△85.9	244	△47.0	135	—
2020年3月期	11,839	△5.1	381	△60.9	462	△56.8	△1,256	—

(注) 包括利益 2021年3月期 158百万円(—%) 2020年3月期 △1,298百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	22.09	—	2.9	0.7	0.5
2020年3月期	△197.62	—	△22.1	1.3	3.2

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	34,925	4,720	13.5	770.69
2020年3月期	35,252	4,758	13.5	776.89

(参考) 自己資本 2021年3月期 4,719百万円 2020年3月期 4,757百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	371	△908	△45	8,992
2020年3月期	565	△2,311	△597	9,571

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00	201	—	3.6
2021年3月期	—	16.00	—	16.00	32.00	195	144.9	4.1
2022年3月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00		103.2	

3. 2022年3月期の連結業績予想 (2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,000	5.8	△100	—	△60	—	△160	—	—
通期	11,000	6.6	350	551.0	420	71.4	190	40.4	31.02

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 有
新規 1社（社名）株式会社サン・ライフサービス、除外 社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期	6,820,000株	2020年3月期	6,820,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期	696,844株	2020年3月期	696,844株
③ 期中平均株式数	2021年3月期	6,123,156株	2020年3月期	6,359,222株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(企業結合等関係)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、経済活動の停滞が顕著になり予断を許さない状況となっております。二度の緊急事態宣言により人が集う機会が制限され、当社の事業領域においても大きな影響が出ております。

また、「2020年人口動態統計速報」によれば、2020年（1月～12月）の出生数は約87万人に対し、死亡数は約138万人と自然減が続く、「内閣府2020年版高齢社会白書（全体版）」によると、2065年にはわが国の人口は約8,808万人、65歳以上の人口比率が約38.4%と、総人口の減少及び一層の少子・高齢化が予測されております。

このような状況下、当社グループにおける各事業の取り組みと業績内容は以下の通りであります。

ホテル事業では、2020年4月7日、2021年1月8日の二度の緊急事態宣言の発令、および感染者数増加の収束が進まないことから、予定しておりましたご婚礼、ご宴会、ご宿泊、レストラン、イベントの多くが中止もしくは延期となりました。そのような情勢の中、フォトウェディングのご提案推進、お弁当、ホテル料理やスイーツの販売など強化したものの、売上高は前期比69.6%減の475百万円、営業損失は405百万円（前期は363百万円の営業損失）となりました。

式典事業では、ご葬儀1件あたりの売上高は外出自粛によるご葬儀の小規模化の影響により減少しました。

2020年7月より安全対策を図りながら、施設のイベント（見学会、相談会）を実施し始めております。ご葬儀のご用命をいただけるよう、施設のイベントのほかWEB広告やオンライン相談などを強化してまいりました。

2020年4月には家族葬対応施設「ファミリーホール聖蹟桜ヶ丘」（東京都多摩市）、2020年5月には家族葬対応施設「サン・ライフ ファミリーホール藤沢大庭」（神奈川県藤沢市）、2020年12月には家族葬対応施設「西湘ホール」（神奈川県足柄下郡真鶴町：既存施設の隣地に新規建設）、2021年3月には家族葬対応施設「サン・ライフ ファミリーホール大井松田」（神奈川県足柄上郡大井町）を開設し、ご葬儀件数は増加しました。また、2020年2月より東京都八王子市にあります「東京霊園」の管理運営を受託する高尾山観光開発株式会社がグループ業績に通年で寄与しております。これらの結果、売上高は前期比9.0%減の7,579百万円、のれん償却費の計上等により、営業利益は前期比13.9%減の1,499百万円となりました。

介護事業では、介護サービスご利用者の増加とサービス向上に努めてまいりました。2019年10月よりデイサービス、ショートステイを中心とする「エミーズ鴨宮」（神奈川県小田原市）、「エミーズ東間門」（静岡県沼津市）、「エミーズ原」（静岡県沼津市）が加わったことによりグループ業績に通期で寄与しております。これにより売上高は前期比16.3%増の1,886百万円となりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛によるサービス利用の減少や新規入居制限などもあり、営業損失は32百万円（前期は8百万円の営業損失）となりました。

その他の事業では、少額短期保険収入の増加、2019年11月よりハウスクリーニング、業務用清掃を主要業務とする株式会社スキル（神奈川県平塚市）が加わったことによりグループ業績に通期で寄与しております。売上高は前期比18.0%増の380百万円となりましたが、ハウスクリーニング事業における営業費用の増加等により、営業利益は前期比78.3%減の14百万円となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は前期比12.8%減の10,322百万円、営業利益は、前期比85.9%減の53百万円、経常利益は、前期比47.0%減の244百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は135百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失1,256百万円）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当連結会計年度末における資産は、前連結会計年度末に比べ327百万円減少し、34,925百万円となりました。これは、現金及び預金の減少等による流動資産の減少393百万円、土地及び建物の取得による有形固定資産の増加272百万円、のれんの減少等による無形固定資産の減少189百万円、投資有価証券の売却による減少等による投資その他の資産の減少16百万円があったことによるものです。

(負債)

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べ289百万円減少し、30,204百万円となりました。これは買掛金、未払金及び未払法人税等の減少等による流動負債の減少162百万円、前払式特定取引前受金及びその他固定負債の減少等による固定負債の減少126百万円があったことによるものです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べ37百万円減少し、4,720百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純利益135百万円の計上及び配当金の支払195百万円により利益剰余金が60百万円減少したこと、その他有価証券評価差額金の増加22百万円があったこと等によるものです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の期末残高は前連結会計年度末に比べ579百万円減少し、8,992百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果得られた資金は371百万円となりました。主な収入要因として、税金等調整前当期純利益242百万円、減価償却費579百万円があった一方、主な支出要因として、法人税等の支払額372百万円等があったことが主たる要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果支出した資金は908百万円となりました。これは、有形及び無形固定資産の取得による支出893百万円、定期預金の預入による支出150百万円があった一方、投資有価証券の売却による収入158百万円があったことが主たる要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果支出した資金は45百万円となりました。これは、配当金の支払額195百万円があった一方、短期借入金の収入150百万円があったことが要因であります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大収束の遅れ、変異種の流行など当社の事業に大きく影響を与える可能性があり、ワクチンや治療薬が普及するまでは不透明な状況が続いていくと推測されます。

当社グループ事業を取り巻く環境は、総人口の減少、少子高齢化、核家族化を背景に顧客の価値観とライフスタイル・ニーズが多様化される中、今後も更なる市場競争の激化が予想されます。

このような中、機動的かつ柔軟な経営判断を行い、顧客ニーズを的確に捉え、安全を確保しながら更なる顧客満足度の向上、新たな市場・顧客開拓を行い、企業価値の向上を目指してまいります。同時にコスト競争力の強化、危機管理体制の整備、コンプライアンス遵守といった取り組みを継続し、経営基盤の強化を推進してまいります。

各事業別の戦略の方向性は以下の通りであります。

ホテル事業

- ・お客様ニーズに基づいた新商品企画（フォトウェディング、テイクアウト料理、スイーツなど）
- ・お客様の期待を超える施行品質の実現および安全対策の徹底
- ・お客様に選択される広告宣伝（SNSなど）、オンラインによる販売強化
- ・少人数体制による運営の実施

式典事業

- ・インターネット、IT技術を活用したご用命件数の増加および顧客サービス向上
- ・ご葬儀ブランド別の組織、オペレーションの確立・実施
- ・顧客管理システムの整備とアフターフォローサービスの充実
- ・戦略的な新規斎場の出店
- ・社会ニーズに応じた周辺領域における新規事業の拡充、推進
- ・霊園事業の既存事業へのシナジー発揮

介護事業

- ・看護師、ヘルパーの確保、サービス提供体制の強化
- ・M&A、新規介護施設の展開・推進

その他の事業（互助会事業、少額短期保険業他）

- ・展示会、フェスタなどイベントおよび催事出店を通じた顧客基盤の拡大
- ・会員メリットの拡充と会員世帯数の増加
- ・ハウスクリーニングなど消費者ニーズに応じた付帯事業の商品・サービス開発

次期の連結業績予想につきましては、以上を踏まえ、売上高11,000百万円（前期比6.6%増）、営業利益350百万円（前期比551.0%増）、経常利益420百万円（前期比71.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は190百万円（前期比40.4%増）を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は現在日本国内に限定されており、海外での活動がないことから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,338,416	8,899,646
売掛金	542,419	562,649
有価証券	208	212
商品	41,049	38,211
原材料及び貯蔵品	56,814	55,104
短期貸付金	5,209	7,771
預け金	543,526	552,901
その他	304,367	320,670
貸倒引当金	△1,553	△147
流動資産合計	10,830,458	10,437,018
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,381,971	18,859,942
減価償却累計額	△11,906,840	△12,299,856
建物及び構築物(純額)	6,475,131	6,560,085
機械装置及び運搬具	214,105	232,460
減価償却累計額	△185,069	△204,244
機械装置及び運搬具(純額)	29,035	28,216
工具、器具及び備品	2,110,371	2,190,777
減価償却累計額	△1,743,133	△1,862,858
工具、器具及び備品(純額)	367,238	327,918
土地	8,039,548	8,194,384
建設仮勘定	234,186	306,801
有形固定資産合計	15,145,139	15,417,405
無形固定資産		
のれん	1,606,015	1,432,085
その他	242,954	227,534
無形固定資産合計	1,848,970	1,659,619
投資その他の資産		
投資有価証券	2,580,602	2,456,190
長期貸付金	162,727	156,103
出資金	5,770	5,770
供託金	1,110,465	1,123,465
敷金及び保証金	2,723,665	2,720,091
繰延税金資産	611,556	735,950
その他	265,722	246,525
貸倒引当金	△32,941	△33,055
投資その他の資産合計	7,427,568	7,411,040
固定資産合計	24,421,678	24,488,066
資産合計	35,252,137	34,925,085

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	494,308	414,531
未払金	350,644	223,828
未払法人税等	216,494	109,402
賞与引当金	192,830	156,336
その他	611,988	799,594
流動負債合計	1,866,265	1,703,693
固定負債		
退職給付に係る負債	148,348	157,956
長期末払金	307,258	307,258
前払式特定取引前受金	26,848,215	26,787,973
前受金復活損失引当金	54,790	49,587
繰延税金負債	848,013	851,926
その他	421,101	346,445
固定負債合計	28,627,727	28,501,149
負債合計	30,493,993	30,204,843
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	761,914	761,914
利益剰余金	4,555,199	4,494,549
自己株式	△685,696	△685,696
株主資本合計	4,731,417	4,670,767
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,608	48,331
その他の包括利益累計額合計	25,608	48,331
非支配株主持分	1,117	1,142
純資産合計	4,758,143	4,720,241
負債純資産合計	35,252,137	34,925,085

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	11,839,984	10,322,012
売上原価	9,418,510	8,207,427
売上総利益	2,421,474	2,114,584
販売費及び一般管理費	2,039,682	2,060,819
営業利益	381,791	53,765
営業外収益		
受取利息	13,417	13,505
受取配当金	14,032	16,430
前受金月掛中断収入	27,297	26,954
不動産賃貸料	23,906	21,654
助成金収入	5,236	40,841
預り金取崩益	-	87,604
その他	40,815	30,081
営業外収益合計	124,706	237,071
営業外費用		
不動産賃貸費用	9,429	8,679
前受金復活損失引当金繰入額	33,743	36,148
その他	1,033	1,024
営業外費用合計	44,205	45,852
経常利益	462,292	244,983
特別利益		
固定資産売却益	57,744	272
固定資産受贈益	72,500	-
投資有価証券売却益	20,790	-
受取保険金	42,686	3,944
移転補償金	-	15,100
特別利益合計	193,720	19,316
特別損失		
固定資産除売却損	48,351	21,636
減損損失	1,171,184	-
特別損失合計	1,219,536	21,636
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△563,523	242,663
法人税、住民税及び事業税	339,648	239,648
法人税等調整額	353,644	△132,299
法人税等合計	693,292	107,348
当期純利益又は当期純損失(△)	△1,256,816	135,315
非支配株主に帰属する当期純利益又は非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△49	24
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,256,766	135,290

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△1,256,816	135,315
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,386	22,723
その他の包括利益合計	△41,386	22,723
包括利益	△1,298,202	158,038
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,298,152	158,014
非支配株主に係る包括利益	△49	24

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	761,914	6,038,876	△341,896	6,558,895
当期変動額					
剰余金の配当			△226,910		△226,910
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,256,766		△1,256,766
自己株式の取得				△343,800	△343,800
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△1,483,677	△343,800	△1,827,477
当期末残高	100,000	761,914	4,555,199	△685,696	4,731,417

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	66,994	66,994	1,167	6,627,056
当期変動額				
剰余金の配当				△226,910
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△1,256,766
自己株式の取得				△343,800
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△41,386	△41,386	△49	△41,435
当期変動額合計	△41,386	△41,386	△49	△1,868,913
当期末残高	25,608	25,608	1,117	4,758,143

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	100,000	761,914	4,555,199	△685,696	4,731,417
当期変動額					
剰余金の配当			△195,940		△195,940
親会社株主に帰属する当期純利益			135,290		135,290
自己株式の取得					
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△60,650	—	△60,650
当期末残高	100,000	761,914	4,494,549	△685,696	4,670,767

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	25,608	25,608	1,117	4,758,143
当期変動額				
剰余金の配当				△195,940
親会社株主に帰属する当期純利益				135,290
自己株式の取得				
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	22,723	22,723	24	22,748
当期変動額合計	22,723	22,723	24	△37,902
当期末残高	48,331	48,331	1,142	4,720,241

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△563,523	242,663
減価償却費	616,897	579,189
減損損失	1,171,184	-
のれん償却額	75,501	173,930
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,595	9,608
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,323	△1,291
賞与引当金の増減額(△は減少)	37,116	△36,494
前受金復活損失引当金の増減額(△は減少)	△2,957	△5,202
受取利息及び受取配当金	△27,449	△29,935
受取保険金	△42,686	△3,944
有形固定資産除売却損益(△は益)	△9,392	21,364
固定資産受贈益	△72,500	-
移転補償金	-	△15,100
助成金収入	△5,236	△40,841
預り金取崩益	-	△87,604
投資有価証券売却損益(△は益)	△20,790	-
売上債権の増減額(△は増加)	△56,441	△20,229
たな卸資産の増減額(△は増加)	12,352	4,548
仕入債務の増減額(△は減少)	△142,502	△79,776
未払金の増減額(△は減少)	8,000	△83,022
前払式特定取引前受金の増減額(△は減少)	△22,851	△60,242
その他の流動資産の増減額(△は増加)	7,249	△19,104
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△347,868	33,757
その他	26,294	27,375
小計	653,313	609,649
利息及び配当金の受取額	22,335	26,577
保険金の受取額	24,569	22,060
移転補償金の受取額	-	15,100
助成金の受取額	5,236	40,841
法人税等の支払額	△303,214	△372,634
法人税等の還付額	162,940	30,040
営業活動によるキャッシュ・フロー	565,182	371,634
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,136,087	△893,758
有形及び無形固定資産の売却による収入	66,162	272
有形及び無形固定資産の除却による支出	△31,120	△1,073
投資有価証券の取得による支出	△30	-
投資有価証券の売却による収入	87,120	158,970
供託金の預入による支出	△11,500	△13,000
定期預金の預入による支出	-	△150,000
貸付けによる支出	△47,797	△810
貸付金の回収による収入	3,762	4,872
事業譲受による支出	△80,450	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,125,777	-
その他	△35,792	△13,700
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,311,510	△908,226

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△226,156	△195,603
自己株式の取得による支出	△343,800	-
短期借入金を増減額(△は減少)	-	150,000
その他	△27,064	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	△597,020	△45,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	228	2,803
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,343,119	△579,392
現金及び現金同等物の期首残高	11,914,730	9,571,610
現金及び現金同等物の期末残高	9,571,610	8,992,218

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

(持分会社体制への移行及び吸収分割)

共通支配下の取引等

当社は、2020年8月7日開催の取締役会において、新たに株式会社サン・ライフサービスを設立し、当社連結子会社である株式会社サン・ライフの事業の一部（ホテル・ブライダル事業）を会社分割（吸収分割）し、それらの事業を株式会社サン・ライフサービスに承継させることを決議いたしました。また、同日付で、株式会社サン・ライフサービスと株式会社サン・ライフの間で吸収分割契約を締結し、2020年10月1日付で本吸収分割を実施いたしました。

1. 取引の概要

(1) 対象となる事業の名称及びその事業の内容

事業の名称 株式会社サン・ライフのホテル・ブライダル事業

事業の内容 主として一般顧客様向けに婚礼・宿泊・宴会・レストラン等のサービスを提供しております。

(2) 企業結合日

2020年10月1日

(3) 企業結合の法的形式

株式会社サン・ライフを分割会社、株式会社サン・ライフサービスを承継会社とする吸収分割

(4) 結合後企業の名称

株式会社サン・ライフサービス

(5) その他取引の概要に関する事項

当社は、当社グループの主力事業として冠婚葬祭、介護、互助会事業を営んでおりますが、急速な少子高齢化・人口減少、価値観の変化によるライフスタイル・ニーズの多様化に対応し、機能的かつ柔軟な経営判断を可能とする体制を図るため2018年10月1日に持株会社体制へと組織再編をいたしました。

今般、組織再編の一環として、ホテル・ブライダル事業における競争力強化並びに、当該事業の枠にとらわれず、顧客ニーズに沿った新たな事業への取り組みを図るべく、同事業に関する新会社を設立し、同事業にかかる資産等を会社分割の手法を用いて新会社に承継することといたしました。これにより、経営責任の明確化、経営判断の迅速化を実現し、当社グループの更なる企業価値の向上を目指してまいります。

2. 実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として処理しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、取扱うサービス別に包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しており、これらを基礎とした事業の種類別かつエリア別セグメントから構成され、経済的特徴の類似性等を勘案し、事業セグメントを集約した「ホテル事業」、「式典事業」、「介護事業」の3つを報告セグメントとしております。

「ホテル事業」では、ご婚礼、ご宴会及びご宿泊のサービスを行っております。「式典事業」では、ご葬儀、ご法要、エンバーミング（ご遺体衛生保全）のサービス、ペットのご葬儀、霊園の管理及び仏壇店の運営を行っております。「介護事業」では、在宅介護サービス及び介護付き有料老人ホーム、住宅型有料老人ホームの運営を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高及び振替高は、市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,564,594	8,330,694	1,622,407	11,517,696	322,288	11,839,984	—	11,839,984
セグメント間の内部 売上高又は振替高	227,032	138	690	227,861	5,689	233,550	△233,550	—
計	1,791,627	8,330,832	1,623,097	11,745,557	327,977	12,073,535	△233,550	11,839,984
セグメント利益又は損 失(△)	△363,121	1,741,182	△8,238	1,369,822	68,354	1,438,176	△1,056,384	381,791
セグメント資産	1,035,202	17,928,686	2,533,605	21,497,494	1,137,007	22,634,501	12,617,635	35,252,137
その他の項目(注) 5								
減価償却費	108,517	406,547	45,380	560,445	677	561,123	55,774	616,897
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	142,641	2,224,203	132,981	2,499,826	481	2,500,308	223,986	2,724,294
のれんの償却額	—	33,600	41,707	75,308	193	75,501	—	75,501

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファイナンシャル・サポート・サービス、少額短期保険業、清掃業他が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,056,384千円には、セグメント間取引消去56,534千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,112,919千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント資産の調整額12,617,635千円の内容は、セグメント間消去取引△14,750,681千円、各報告セグメントに配分していない全社資産27,368,317千円であり、全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社固定資産であります。

その他の項目の減価償却費の調整額55,774千円は全社資産に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額223,986千円は、全て全社有形固定資産及び無形固定資産であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

5 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、長期前払費用に係る金額が含まれております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2、3	連結財務諸 表計上額 (注)4
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	475,641	7,579,173	1,886,858	9,941,674	380,337	10,322,012	—	10,322,012
セグメント間の内部 売上高又は振替高	97,606	1,832	677	100,116	32,858	132,975	△132,975	—
計	573,248	7,581,006	1,887,535	10,041,790	413,196	10,454,987	△132,975	10,322,012
セグメント利益又は損 失(△)	△405,314	1,499,525	△32,404	1,061,805	14,858	1,076,664	△1,022,899	53,765
セグメント資産	1,099,136	18,930,969	2,383,320	22,413,427	890,638	23,304,066	11,621,018	34,925,085
その他の項目(注)5								
減価償却費	58,883	415,832	45,364	520,080	542	520,623	58,566	579,189
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	27,282	770,888	5,745	803,916	1,994	805,911	63,910	869,821
のれんの償却額	—	128,845	44,621	173,466	463	173,930	—	173,930

- (注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ファイナンシャル・サポート・サービス、少額短期保険業、清掃業他が含まれております。
- 2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,022,899千円には、セグメント間取引消去51,352千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,074,252千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
- 3 セグメント資産の調整額11,621,018千円の内容は、セグメント間消去取引△14,682,962千円、各報告セグメントに配分していない全社資産26,303,981千円であります。全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社固定資産であります。
- その他の項目の減価償却費の調整額58,566千円は全社資産に係る減価償却費であります。また、有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額63,910千円は、全て全社有形固定資産及び無形固定資産であります。
- 4 セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
- 5 減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額は、長期前払費用に係る金額が含まれております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	消去又は全社	合計
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計			
減損損失	1,171,184	—	—	1,171,184	—	—	1,171,184

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	消去又は全社	合計
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計			
当期末残高	—	1,253,001	348,574	1,601,575	4,439	—	1,606,015

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	消去又は全社	合計
	ホテル事業	式典事業	介護事業	計			
当期末残高	—	1,124,156	303,952	1,428,109	3,976	—	1,432,085

(注) のれんの償却額に関しては、セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	776.89円	770.69円
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△)	△197.62円	22.09円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	—	—

- (注) 1. 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
3. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△1,256,766	135,290
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△1,256,766	135,290
普通株式の期中平均株式数(株)	6,359,222	6,123,156

4. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当連結会計年度末 (2021年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,758,143	4,720,241
純資産の部の合計額から控除する金額(千円) (うち非支配株主持分(千円))	1,117 (1,117)	1,142 (1,142)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,757,026	4,719,099
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式 の数(株)	6,123,156	6,123,156